

新型コロナウイルス感染拡大後の健康状況

「2020 年学校健診後治療調査」より

2021 年 5 月 23 日
全国保険医団体連合会

■「新型コロナウイルス感染拡大」によって“受診ができない”児童・生徒たちがいる

2020 年に日本全国で感染が拡大した新型コロナウイルス。新型コロナウイルスは、全国で実施されている学校健診にも大きな影を落とした。新型コロナ感染拡大に伴う 2020 年 3 月 4 月の全国一斉休校を受け、学校健診は延期され、その後も健診実施に至るまでに時間を要した。加えて、「受診による新型コロナ感染」を恐れて、要受診とされているにも関わらず必要な受診ができていないことが明らかとなった。

■“受診できない”児童・生徒たちは増加している

全国保険医団体連合会は、学校健診で、「医療機関への受診が必要とされたにもかかわらず、受診できていない子どもたちがいる」ことを 2018 年に実施した「全国学校健診後治療調査」で明らかにした。その翌年、新型コロナウイルスの急拡大が起こった結果、前回調査に比べて、要受診とされた子どもたちの未受診率は、調査対象の歯科、眼科、耳鼻科、内科の全科において増加した。未受診の割合は、歯科健診は 62.3%（前回 57%）、眼科健診は 55.4%（前回 47.6%）、視力検査は 58.3%（前回 56.3%）、耳鼻科健診は 57.4%（前回 50.8%）、聴力検査 41.2%（前回 35.0%）内科健診 53.6%（前回 50.5%）となり、未受診の児童・生徒数は増加している。

■新型コロナウイルスによる広範囲にわたる影響事例が寄せられる

新型コロナウイルスによる影響については、40.3%の学校が「影響があった」と回答した。影響事例は、「肥満児童・生徒の増加」、「視力低下」、「保健室登校の増加」「虫歯のある児童・生徒の増加」など多数報告された。また、不登校、授業に欠席ぎみ、登校をしづる児童・生徒が多くいるとの声が養護教員から寄せられている。さらに、学校休校中の運動不足などに起因すると考えられる骨折などの怪我の増加、心身における体調不良の増加が指摘された。学校休校中、ゲームなどのメディアに費やす時間が増加したことで生活リズムの乱れや視力低下として影響が出ているとの声が寄せられた。歯科では、全体的に口腔内の状況が悪化し、虫歯のみでなく歯垢の付着や歯肉炎が増加していると指摘されている。「コロナ感染が不安」であることを理由にした受診控えも多く発生していたとの報告が寄せられた。

■コロナ禍の今こそ、国・自治体・地域での積極的な対策を

未受診の背景として「健康状態に対する親の理解不足」「共働き」「経済的困難」「ひとり親家庭」「無関心」などがあり、健診後の受診につながらない児童・生徒は家庭に何らかの問題を抱えていることは、前回の学校健診後治療調査で明らかにした。前述の状況が改善されない中で、今回、新型コロナウイルス感染拡大による「受診控え」が加わり、児童・生徒を取り巻く健康状況が悪化していることが分かった。児童・生徒の健全な成長・発達を保障する上で、必要な受診を促すことを目的として、国・自治体・学校・医療関係者・地域が連携した積極的な対応が求められる。

2020 年度学校健診後治療調査の要受診率・未受診率

	2020 年調査		2018 年調査	
	要受診率	未受診率	要受診率	未受診率
歯科	31.1%	62.3%	32.0%	57.0%
眼科	4.6%	55.4%	5.1%	47.6%
視力検査	36.9%	58.3%	33.3%	56.3%
耳鼻科	13.5%	57.4%	15.7%	50.8%
聴力検査	1.4%	41.2%	1.1%	35.0%
内科	3.7%	53.6%	3.6%	50.5%

※「2020 年度学校健診後治療調査」は、全国 31 都道府県の公立、私立の小学校・中学校・高等学校・特別支援学校を対象に 2021 年 2 月 5 日～3 月 31 日にかけて行った。調査票を 23,774 校へ送付し、4,923 校（回収率 20.7%）から回答があった。

歯科

歯科健診を受けた児童・生徒のうち、31.1%（前回は32.0%）が要受診と診断されたが、要受診と診断された児童・生徒の62.3%（前回は57.0%）が「未受診」だった。

新型コロナ感染拡大によって、「感染の恐れ」を理由にした歯科の未受診者の増加が原因で、前回調査時の未受診割合を上回っている。養護教員からは「コロナが落ち着くまで保護者が健診後の受診を控えている」との指摘がある。同時に、感染拡大により、学校健診時期が遅れたことにより、受診までの報告期間が短かったことも受診率が上がらなかった一因とする一方、養護教員自身もコロナ禍において、歯科受診を強く勧められていないという現状も報告された。また、「新型コロナウイルス感染症拡大により、給食後の歯磨きの実施や歯科指導の染め出しができず、来年度以降歯の増加を心配している。」（岐阜・小学校）との声が寄せられるなど、歯磨きが学校で行えなくなったとの報告も多く寄せられた。

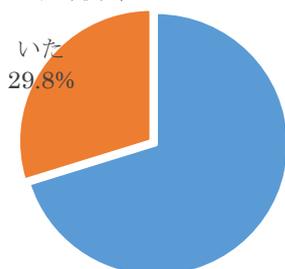
口腔崩壊（むし歯が10本以上、歯の根っこしかない未処置歯があるなど咀嚼が困難な状態）の児童・生徒たちの有無については、「いた」と回答した学校が、29.8%となり、前回調査（28.9%）同様の結果となった。口腔崩壊に陥っている児童・生徒数は3839人（約0.3%）との結果となった。むし歯のある児童・生徒数は、歯磨き習慣やフッ素塗布などにより近年減少しているが、極端にむし歯が多く、口腔内が放置されている児童・生徒は存在している。事例では、「歯周炎がひどく、歯茎から出血している。母子家庭と経済的貧困、子への無関心のため受診できずに、保健室に「痛い」と訴えてくる」（千葉・小学校）、「（むし歯が）10本以上ある児童のほとんどが、医療を受診していない。（1回もしたことがない）」（大阪・小学校）。また、「多数虫歯を保持している生徒や、毎年歯科健診の日に欠席し、その後の受診にもいかない生徒がおります」（秋田・中学校）などの声に代表されるように、歯科健診に欠席する児童・生徒の健康状況は把握できておらず、実際の健康状況が危惧される。

歯科健診



歯科健診割合		人数
受診	37.7%	148,590
未受診	62.3%	245,156
要受診	31.1%	393,746
歯科健診人数		1,264,395

口腔崩壊について



口腔崩壊の割合		学校数
いなかった	70.2%	3,436
いた	29.8%	1,459
回答校数		4,894

眼科

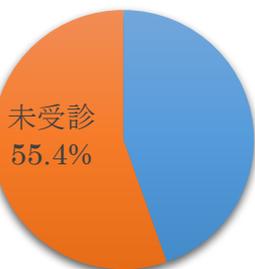
眼科健診（視力検査をのぞく）をうけた児童・生徒のうち、要受診と診断されたにもかかわらず、未受診であった児童・生徒は、55.4%（前回 47.6%）、視力検査の場合は、58.3%（前回 56.3%）となり 2018 年調査より未受診率は上昇した。

眼科への受診が遅れた結果、「眼疾患を治療しなかったために、症状が悪化した」（愛媛・小学校）、「受診を勧めるが保護者はコロナ感染が不安で病院につれていけない。その後 Dr. と学校のすすめで 4 か月後受診、ヘルペスと診断された」（茨城・中学校）「視力がずっと（D.D.）だったのにそのまま放置して数年たってしまったが、進路が関わっているため、ようやく受診し、両眼、網膜剥離が判明。手術治療を受けた」（千葉・高校）など、痛ましい報告が寄せられた。

新型コロナウイルス感染拡大により、ゲームやスマホ、SNS に費やす時間が増加したとの報告が寄せられる中、「長期休校の影響か、視力低下した児童が多くいた。28 名中 19 人受診が必要という学級があり座席配列にこまった」（愛知・小学校）、「視力 D の生徒が前年度の 5 倍という結果が出た。休校になり、自宅で過ごす時間も増えたが、テレビやゲームの時間が長時間であったり、近くのものばかりを見ている生活も一因ではないかと考える」（宮城・小学校）など、子どもたちの視力低下の傾向が指摘された。

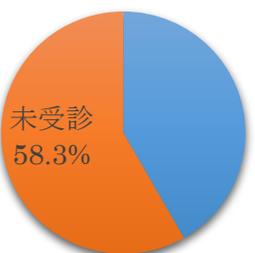
また、眼鏡を購入するための経済的な負担が問題となっている事例も寄せられている。「メガネは医療助成の対象外のため、受診してメガネ処方されても作らない（作れない）家庭がある。」（東京・小学校）、「めがねを更新したいが（保護者の仕事が変わり）収入が減ったので買いにいけないと保護者から言われた（京都・中学校）などである。

眼科健診



眼科健診割合		人数
受診	44.6%	18,228
未受診	55.4%	22,632
要受診	4.6%	40,860
眼科健診人数		897,416

視力検査



視力検査割合		人数
受診	41.7%	195,732
未受診	58.3%	273,375
要受診	36.9%	469,107
視力検査人数		1,272,115

耳鼻科

耳鼻科健診（聴力検査を除く）を受けた児童・生徒のうち要受診と診断されたにもかかわらず、未受診だった子どもの割合は、57.4%（前回 50.8%）、聴力検査は 41.2%（前回 35.0%）となり、大幅に上昇している。

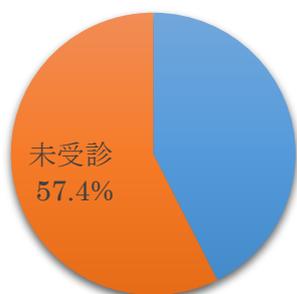
養護教員からは、「鼻炎、中耳炎、耳垢でもなかなか受診せず、勉強に集中できない場面があった」（千葉・小学校）、「鼻炎を放置して鼻づまりによる頭痛を訴えて来室する」（佐賀・小学校）など、学校での学習・生活面において、支障をきたしている報告が寄せられた。

また聴力低下の対応が必要な児童・生徒について、「補聴器を購入できない」（三重・小学校）「難聴のため補聴器をつけているが、壊れていたり、新しいものが必要でも購入の手続きがしてもらえない」（京都・中学校）との事例も寄せられ、「聴こえない」子どもたちへの対応が必要な状況が明らかとなっている。

新型コロナ感染拡大が影響して、「扁桃肥大で主治医から手術を進められているが、保護者は不要と判断している。コロナ感染の心配もあり、本年度の受診を見送ったとの連絡があった」（岩手・中学校）との報告が寄せられている。

養護教員からは、受診を促すため取り組むも受診につながらなかった「何度も受診を勧めたが、必要性を感じて頂けなかった」（長野・中学校）との報告や、受診に成功した事例として「受診の勧めに応じず、耳鼻科医との連携で、養護教員同伴で受診した」（宮城・小学校）と医療関係者と学校の連携が図られている報告があった。

耳鼻科健診



耳鼻科健診割合		人数
受診	42.6%	42,791
未受診	57.4%	57,706
要受診	13.5%	100,497
耳鼻科健診人数		745,890

聴力検査



聴力検査割合		人数
受診	58.8%	7,707
未受診	41.2%	5,407
要受診	1.4%	13,114
聴力検査人数		932,409

内科関連

内科診断を受けた児童・生徒のうち要受診と診断されたにもかかわらず、未受診だった児童・生徒の割合は、53.6%（前回 50.5%）となり、未受診率は上昇した。

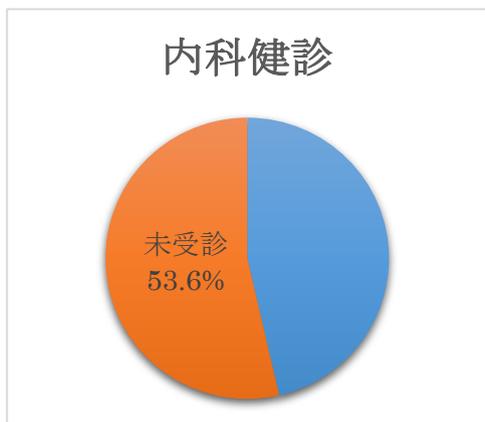
内科関連の具体的困難事例は、773 事例寄せられた。その中で、今回一番多かったのは「肥満児童・生徒の増加」で、二番目に多かったのは、不登校児・生徒の増加、そして三番目は心の問題、4番目はアトピー性皮膚炎疑いと続く。

新型コロナウイルス感染拡大防止のための一斉休校中に、肥満の児童・生徒が増加したとの報告が多数寄せられたが、「肥満についての保護者の認識が低い」（茨城・小学校）との声も同時に多いことが分かった。一方で、「養育放棄の要素の強い低栄養の子がいる」（宮城・小学校）との報告があるように、満足に食べることができていない状況も報告された。また、「摂食障害・神経性食欲不振症」（山梨・中学校）もあり、体重が減少している児童・生徒がいるとの声も寄せられた。

不登校の増加については、心の問題を抱えているための不登校であるとの指摘もある。一方で、「不登校が増え、健診自体を受けていない生徒が増加。その生徒たちに肥満や生活習慣病が増えている。」（大阪・中学校）との回答にあるように、学校健診そのものを受けない児童・生徒が増加し、健康状況の把握できていない可能性もある。

アトピー性皮膚炎については、「アトピー性皮膚炎の疑いがある生徒が体育後（特にバレーボール）に手のひらの出血で来室することが多い。何度も受診を促すが受診につながらない、この生徒は歯科健診でも要受診とされているがいまだ未受診」（石川・高校）と報告が寄せられているように、複数科で未受診であるとの指摘もある。

また、心電図異常についても、「心臓健診にて要精密検査となったが、学校は速やかな受診を促しているが応じない」（栃木・小学校）など、心配の声が寄せられている。



内科健診割合	人数	
受診	46.4%	21,616
未受診	53.6%	24,985
要受診	3.7%	46,601
内科健診人数		1,268,976

未受診について

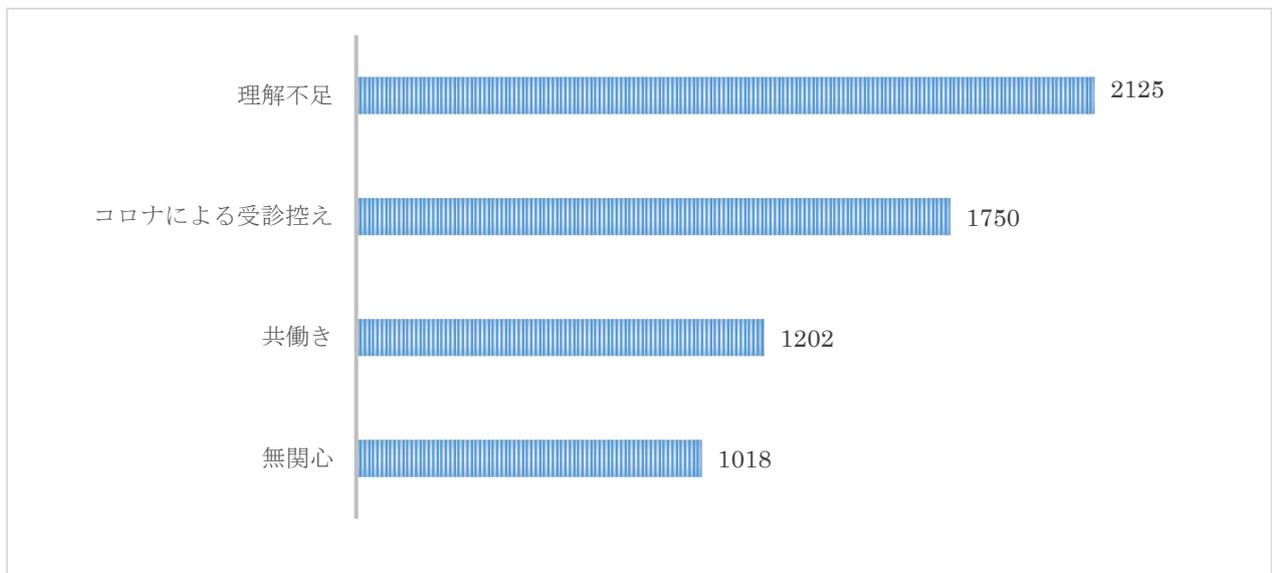
未受診の理由について、養護教諭に尋ねたところ、一番多かったのは「健康への理解不足」（前回調査時同様）だったが、今回は「新型コロナ感染による受診控え」が次に多く、3番目が「共働き」、4番目が「無関心」と続いた。

未受診の児童・生徒は、家庭環境に何らかの問題を抱えていることは明らかであるが、今回の調査では、新型コロナウイルスの感染拡大という要素が加わったことで、医療が必要な児童・生徒が十分な受診をできず健康状況が悪化している報告が寄せられた。

未受診についての自由記載欄では「兄弟が多く世話ができない」（北海道・小学校）、「へき地のため近くに病院がなく、車で一時間以上かかるためハードルが高い」（奈良県・中学校）、「健診終了時期が遅い。外出自粛令の影響が大きく、治療の推進も届かない。」（栃木・小学校）、「受診しているが学校への申告のし忘れがある」（山梨・小学校）などの報告にみられるように、未受診の要因は多岐にわたる。また、「アレルギー結膜炎などは毎年のことだから症状もきつくないので受診するほどのことでもないという考えの方もいる」（京都・中学校）との意見に象徴されるように、症状が軽いとの保護者の判断で未受診となっている事例も多いことが養護教員から寄せられた。

未受診の理由（上位1位～4位）

理解不足	2125
コロナによる受診控え	1750
共働き	1202
無関心	1018



新型コロナ影響事例

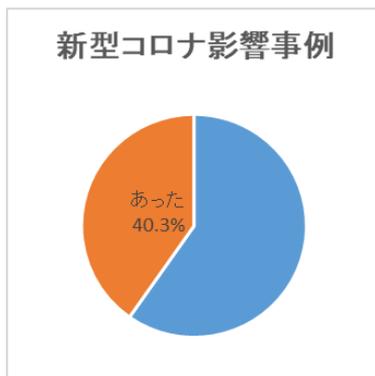
新型コロナによる影響事例の有無については、40.3%の各学校が「影響があった」と回答した。新型コロナによる影響事例では、一番多かったのは「肥満児童・生徒の増加」、二番目が「視力低下」、三番目が「保健室登校の増加」、四番目が「むし歯のある児童の増加」だった。

自由意見欄からは、「不登校や登校しぶり」が全国で増加していることがわかった。また、学校休校中の運動不足などに起因すると考えられる骨折などの怪我の増加、心身における体調不良の増加が指摘された。特に心の病気を心配する声が多く寄せられた。

児童・生徒の体重増加の報告が圧倒的に多いものの、一方で中高校生は摂食障害などで体重減少が起こっていることも報告された。

視力低下については、学校休校中にゲームやスマートフォンなどに時間を費やし、近くのを多く見る生活が続いたことが要因ではないかとの声が寄せられている。ゲームなどによって、昼夜逆転を含む生活リズムの乱れが起こっているとの指摘もある。

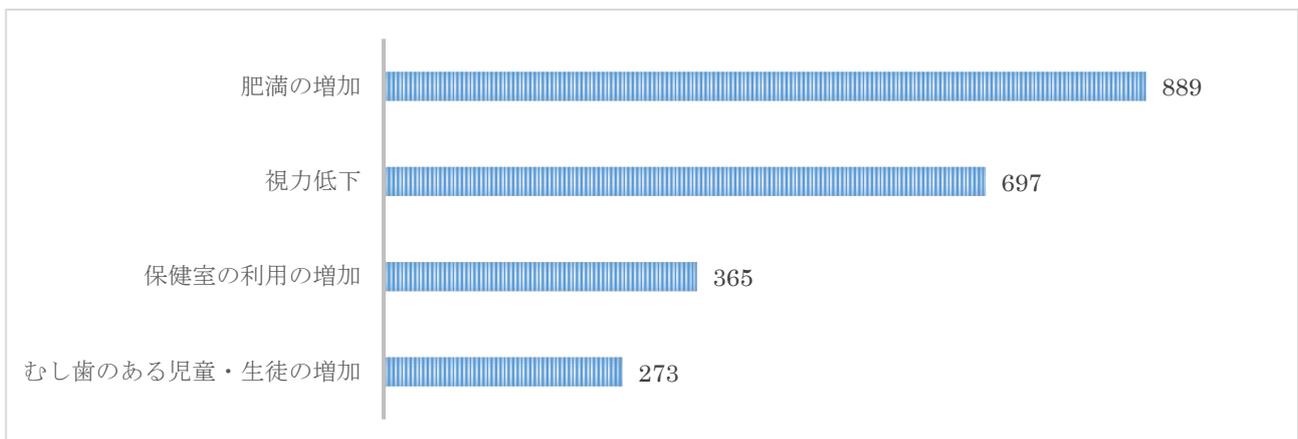
続いて、口腔内の状況が全体的に悪化し、虫歯のみでなく歯垢の付着や歯肉炎が増加していると指摘されている。要受診とされ、受診を促されても「コロナ感染が不安」であることを理由にした受診控えも多く発生していたとの報告が寄せられた。



「新型コロナ」影響事例の有無		学校数
なかった	59.7%	2,839
あった	40.3%	1,913
回答		4,752

新型コロナ影響事例（上位1位～4位）

肥満児童・生徒の増加	889
視力低下	697
保健室の利用の増加	365
むし歯のある児童・生徒の増加	273



小学校、中学校、高校、特別支援学校別の受診状況

「歯科健診」後の状況

歯科健診を受けた児童・生徒の数

① 小学	615849	人	健診にて「要医療機関受診」と診断された人数								
			〔診断後の対応状況〕								
			受診した		受診していない						
① 小学	205365人	33.3%	① 小学	104254人	50.8%	① 小学	101111人	49.2%			
② 中学	294475	人	② 中学	87681人	29.8%	② 中学	25013人	28.5%	② 中学	62668人	71.5%
③ 高校	311633	人	③ 高校	86017人	27.6%	③ 高校	13507人	15.7%	③ 高校	72510人	84.3%
④ 支援	19465	人	④ 支援	7608人	39.1%	④ 支援	2801人	36.8%	④ 支援	4807人	63.2%

「眼科健診」後の状況

眼科健診を受けた児童・生徒の数

① 小学	454774	人	健診にて「要医療機関受診」と診断された人数								
			〔診断後の対応状況〕								
			受診した		受診していない						
① 小学	22180人	4.9%	① 小学	12203人	55.0%	① 小学	9977人	45.0%			
② 中学	211942	人	② 中学	9763人	4.6%	② 中学	3544人	36.3%	② 中学	6219人	63.7%
③ 高校	195987	人	③ 高校	6293人	3.2%	③ 高校	1504人	23.9%	③ 高校	4789人	76.1%
④ 支援	17328	人	④ 支援	1676人	9.7%	④ 支援	592人	35.3%	④ 支援	1084人	64.7%

「視力検査」後の状況

視力検査を受けた児童・生徒の数

① 小学	624326	人	健診にて「要医療機関受診」と診断された人数								
			〔診断後の対応状況〕								
			受診した		受診していない						
① 小学	205847人	33.0%	① 小学	115326人	56.0%	① 小学	90521人	44.0%			
② 中学	297413	人	② 中学	139970人	47.1%	② 中学	51684人	36.9%	② 中学	88286人	63.1%
③ 高校	308407	人	③ 高校	107855人	35.0%	③ 高校	22774人	21.1%	③ 高校	85081人	78.9%
④ 支援	18500	人	④ 支援	7046人	38.1%	④ 支援	2144人	30.4%	④ 支援	4902人	69.6%

「耳鼻科健診」後の状況

耳鼻科健診を受けた児童・生徒の数			
		健診にて「要医療機関受診」と診断された人数	
		〔診断後の対応状況〕	
		受診した	受診していない
① 小学	386837 人	① 小学 61120人 15.8%	① 小学 28966人 47.4%
② 中学	177463 人	② 中学 23479人 13.2%	② 中学 16617人 70.8%
③ 高校	154123 人	③ 高校 12204人 7.9%	③ 高校 9965人 81.7%
④ 支援	16364 人	④ 支援 2358人 14.4%	④ 支援 1403人 59.5%

「聴力検査」後の状況

聴力検査を受けた児童・生徒の数			
		健診にて「要医療機関受診」と診断された人数	
		〔診断後の対応状況〕	
		受診した	受診していない
① 小学	460310 人	① 小学 7985人 1.7%	① 小学 2579人 32.3%
② 中学	213098 人	② 中学 2374人 1.1%	② 中学 1161人 48.9%
③ 高校	229010 人	③ 高校 1870人 0.8%	③ 高校 1119人 59.8%
④ 支援	14033 人	④ 支援 721人 5.1%	④ 支援 479人 66.4%

「内科健診」後の状況

内科健診を受けた児童・生徒の数			
		健診にて「要医療機関受診」と診断された人数	
		〔診断後の対応状況〕	
		受診した	受診していない
① 小学	610608 人	① 小学 25113人 4.1%	① 小学 12337人 49.1%
② 中学	290604 人	② 中学 12196人 4.2%	② 中学 6906人 56.6%
③ 高校	325634 人	③ 高校 7402人 2.3%	③ 高校 4724人 63.8%
④ 支援	19280 人	④ 支援 1115人 5.8%	④ 支援 6396人 57.3%

歯科「口腔崩壊」状態について

回答が寄せられた 学校数	「口腔崩壊」の児童・生徒がいた			いなかった
	[「口腔崩壊」の内訳]			
	むし歯が 10本以上ある	未処置歯の歯が 何本もある		
① 小学校 2655校	811校 30.5%	729校	109校	1844校 69.5%
② 中学校 1237校	242校 19.6%	219校	19校	993校 80.4%
③ 高校 711校	314校 44.2%	289校	4校	397校 55.8%
④ 支援学校 205校	78校 38.0%	65校	15校	127校 62.0%

「未受診」の要因

	① 小学校 2024校が回答	② 中学校 928校が回答	③ 高校 580校が回答	④ 特別支援学校 145校が回答
1理解不足	1167 校 57.7%	527 校 56.8%	342 校 59.0%	60 校 41.4%
2コロナによる受診控え	891 校 44.0%	457 校 49.2%	305 校 52.6%	66 校 45.5%
3共働き	706 校 34.9%	332 校 35.8%	117 校 20.2%	25 校 17.2%
4無関心	575 校 28.4%	262 校 28.2%	151 校 26.0%	18 校 12.4%
5ひとり親家庭	526 校 26.0%	244 校 26.3%	132 校 22.8%	23 校 15.9%
6経済的困難	373 校 18.4%	157 校 16.9%	201 校 34.7%	41 校 28.3%
7心身の状態が不安定	198校 9.8%	93 校 10.0%	43 校 7.4%	20 校 13.8%
8発達障がいがある	110 校 5.4%	48 校 5.2%	30 校 5.2%	78 校 53.8%
9その他	197 校 9.7%	142 校 15.3%	124 校 21.4%	20 校 13.8%

「新型コロナ」影響事例について

	① 小学校 2577校が回 答	② 中学校 1200校が回 答	③ 高校 690校が回 答	④ 特別支 援学 校 200校が回 答
影響があった	1109 校 43.0%	464 校 38.7%	227校 32.9%	80 校 40.0%
影響はなかった	1468 校 57.0%	736校 61.3%	465 校 67.4%	120 校 60.0%
[影響があった内容]				
1肥満児童・生徒の増加	604 校 54.4%	169 校 36.4%	51 校 22.5%	48 校 60.0%
2視力低下の児童・生徒の増加	471 校 42.5%	144 校 31.0%	50 校 22.0%	16 校 20.0%
3保健室利用の増加	203 校 18.3%	91 校 19.6%	60 校 26.4%	4 校 5.0%
4むし歯のある児童・生徒の増加	162 校 14.6%	65 校 14.0%	28 校 12.3%	12 校 15.0%

終わりに

2020年度学校健診後調査では、新型コロナウイルス感染症が学校現場の児童・生徒たちに一定の影響を及ぼし、健康悪化が非常に危惧される結果となった。特に、新型コロナウイルスの感染拡大により引き起こされた受診抑制によって、未受診者が増加しているとの養護教諭の指摘は、見逃すことができない。実際に、児童・生徒に必要な受診ができていない（できていなかった）か否かについては、先ず、国や自治体が調査を行い、未受診をなくすことが求められる。そのうえで、児童・生徒の健全な発育・発達を保障する上で、必要な受診を促すことを目的として、国・自治体・学校・医療関係者・地域が連携した積極的な対応が求められる。

今回の学校健診後治療調査を踏まえ、子どもたちの命と健康を育むために下記の点を提言する。

■保団連の提言

(1) 未受診を「自己責任」とせず、受診しやすい環境を整えること

新型コロナウイルス感染症が広がっている中だからこそ、学校健診で要受診と診断された場合には積極的に医科・歯科医療機関を受診し、精密な検査及び治療を受ける必要がある。

特に成長期に当たる子どもたちの受診を妨げる下記の要件は早急な改善が必要である。

① 国の制度として、18歳までの医療費を無料とすること。

② 小学生以下の子どもが医療機関を受診する必要がある場合は、診察に付き添う人は、別途有給休暇が取得できるようにすること。中小企業における当該有給休暇による損失については国が補填すること。

(2) 眼鏡・補聴器購入に対する補助制度を拡充するとともに、歯科矯正については、下記③においては、保険適用とすること

① 裸眼視力0.7以下では、眼鏡による補正が必要になると言われている。弱視・斜視、先天性白内障術後については補助制度があるが、裸眼視力0.7以下についても補助制度の対象とすること。

② 中等度・軽度難聴も学業には影響がある。重度難聴については補聴器による補助制度があるが、中等度・軽度についても補助制度の対象とすること。

③ しっかりと噛めることは、子どもの成長にとって重要である。歯科矯正は、厚労省が指定する一部の疾患を除き原則自己負担での治療となっている。歯科検診において、機能不全に繋がる不正咬合で歯科矯正の必要があると指摘された場合は、保険適用とすること。同時に、歯科矯正医との連携を図る必要がある。

(3) 学校における健康教育の充実及び保護者への理解の周知を

① 学校において、口腔や全身の管理の重要性などの健康教育を行うこと

② 養護教諭は複数体制とすること。

③ 保護者への理解を求める取り組みを国、自治体としても取り組むこと。

(4) 下記については、今後一層研究及び対策を講じる必要がある。

① 未受診者が多い理由は、経済的な問題か、理解不足なのか。この原因と解決方法について、学校関係者、医療関係者、保護者、自治体、政府などが様々な角度から掘り下げていく必要がある。

② 未受診が、どのような身体的な影響を及ぼし、人生にどのような影響があるのかについても

調査・研究が待たれる。

(5) 新型コロナウイルス感染症による子どもたちの心身への影響の把握と対策の一層の推進を図ること

(6) すみやかに全国調査を行うこと

今回の調査では、新型コロナウイルス感染拡大によって、全国 30 道府県の小学校、中学校、高校、特別支援学校において、「要受診」とされても必要な受診ができない児童・生徒が存在することが明らかになった。文部科学省が 1900 年から実施している「学校保健統計調査」は、統計法に基づく基幹統計調査（基幹統計である学校保健統計を作成するための調査）として、学校における幼児、児童及び生徒の発育及び健康の状態を明らかにすることを目的として行われている。しかし、実際に「要受診」となったものの、受診ができていなかったかどうかについては、この統計調査では拾い上げることができない。養護教員からは本調査については、「教育委員会を通じてメールで依頼した方が良い」との声や調査回答にあたっては大変な事務負担となったとの声も寄せられた。先ず、国や自治体が調査を行い、未受診をなくすことが求められる。

以上

<資料>

歯科分野事例【抜粋】		
入学当初からむし歯がたくさんあるという情報をいただいております。(幼稚園から)歯医者の方には通院しているが改善されていないため、現在、家庭と連携しながら歯磨き指導を行っている。	北海道	小学校
①以前は10本以上あったむし歯が、生え代わりのためむし歯本数は減少。しかし、何度勧めても入学してから一度も受診なし。(2人) ②ようやく受診するようになったものの、途中で通院を続けられない。(1人)	山形県	小学校
準要保護家庭6年生。受診歴なし。乳歯はほとんど歯だったが生えかわり、現在未処置は数本である。しかし、永久歯のCO、歯肉の炎症、歯垢付着があり、口腔、歯の健康状態は良くない	千葉県	小学校
今まで(10歳)ずっと未治療だったが、初めて受診してきた。担任と手を取り合って喜んだ。	富山県	小学校
永久歯にもう歯が9本あり、咀嚼が困難であると思われたため、保護者(両親)に早急に受診をするようお伝えしたが、なかなか受診に至らず困っている。	長野県	小学校
昨年度就学时健康診断時に、かなりの虫歯があったので、保護者に学校歯科医から直接おやつを取り方等指導されたが…コロナ禍になり、治療にも行っておらず、今年度を迎えた。兄たちも、う歯が多いので、今年度後半によりやく治療を始めた。乳歯13本虫歯なので現在治療中です。	岐阜県	小学校
10本以下ですが、毎年虫歯の治療が全く進んでいない子がいる。また、令和3年度入学予定児童のなかに1名未処置歯の乳歯を13本持っている子が入学する予定です。知能が低いこともある、虫歯が多くて硬いものが噛めないという保育園からの申し送りが届きました。	愛知県	小学校
1年生、12本がC。上のきょうだいも未処置歯複数本。サハライドはしているが、いつしたのか不明。偏食も強く、咀嚼が困難なのか偏食なのかわかりづらさが給食もあまり食べられない。	大阪府	小学校
歯の痛みで保健室に来室した児童の口腔内を見ると奥歯の乳歯が溶け外側のエナメル質だけ残っている歯が何本もあった。学校歯科医が「虫歯が多く永久歯に影響するほど」「手遅れ」と言われた児童が数名いた。	和歌山県	小学校
朝から痛くてしくしく泣きながら登校し、授業にならない。保健室で水をもらい、冷やして気をまぎらわせる。保護者の方に迎えにきてもらう。	愛媛県	小学校
小学5年生まで一度も受診していなかった為、永久歯の臼歯において歯の根しか残っていない状態であったが、治療を勧め2月より治療を始めている。	高知県	小学校
本人が歯科検診(受診)をたいへんこわがっているため、実施できない。ご家庭でも困っておられるので、無痛でできる歯科医院を紹介している。歯科検診を受けられない児童が1名いた	佐賀県	小学校
歯が痛くて保健室に来る。学校医へ連絡し、受診可能か確認し、保護者に受診してもらった。(歯の痛みを感じないと歯科受診をしない人が多い)、昨年10本以上保有していたが歯科受診はなかった。	沖縄県	小学校
学校健診でむし歯が10以上あるとされた生徒の中にはかかりつけの歯科医院でむし歯2~3本のみと診断された者もおります。学校での健診の難しさがあると思います。(照明環境や時間の制限等)	北海道	中学校
未処置歯の多い生徒は小学生のころから治療をしていない傾向にあります。	北海道	中学校
コロナ禍で受診が滞っていたとのこと	東京都	中学校
今年度の受診者の少なさは、コロナ感染のこともあるのでは…。受診を控えている。	三重県	中学校
本人が不登校の為病院受診を嫌がる(1人)、母子家庭の為頻りに病院に受診する時間がない事と、部活動を優先にしている為意識が低い(歯に関する)	沖縄県	中学校
未処置歯が12本あり現在治療中。コロナ関係で秋に検診を行ったため、受診件数が少ないです。また、今年度はあまり強く受診をすすめておりません。	岩手県	高校
学校歯科医の先生から直接健康相談を行っていただき、受診を勧めたり、歯周病の恐ろしさを伝えてもらっていますが、全く受診をしてくれません。若年性の歯周病の疑い、床処置歯9本	岐阜県	高校
う歯はないが、歯肉に問題(所見)のある生徒に対し、受診のすすめをするので数が増えるが、痛みを伴わないものは受診をしない傾向がある。	愛知県	高校
新型コロナウイルスの感染拡大の状況下で、緊急性を伴う事態以外での受診については不安があるという声については、いくつか聴取されました。	三重県	高校
虫歯が○本あると通知し、歯科医にかかり「虫歯なし」と言われたと苦情が入ること。虫歯があると知っていながらも放置している生徒が非常に多い。歯科医にかかる時間やお金もない。そもそも、自身の健康に対する意識が低い者が多く、そこへの関わりがまずは必要かと思えます。	三重県	高校
コロナ禍のなかでの受診勧告は感染の心配もあり積極的にはしづらいです。各医療機関毎に感染予防対策をしていただいている「受診の安心感」が、学校現場、社会全体に広がると嬉しいです。	三重県	高校
現在、高校1年。もともとむし歯が多く、永久歯に生えかわってからも、年々増えて、現在10本になっている。中学生になってからは受診していない様子	京都府	高校
コロナ対策として歯科検診を秋以降に行ったため、個別相談に時間をとることができず、う歯多い生徒へ掘り下げた指導ができなかった。ネグレクト傾向や家庭環境に起因するう歯増加もあると考えるので、次年度は個別指導を行う。	大阪府	高校

眼科分野・具体的事例(抜粋)		
離島なので泊をとまわなければ眼鏡を購入できない。コロナ禍でなかなか強く言えなかった。眼科医は2ヶ月に一度程度は来てくれるが最終的には陸の受診となる。	北海道	小学校
視力低下、学習時に不便さを感じるようだが、本人は我慢している。	北海道	小学校
受診はしていても配慮の必要な児童が多い。	北海道	小学校
兄弟の対応のため、通院受診する時間がとれない。	岩手県	小学校
視力Dの児童が昨年度の5倍という結果が出た。休校になり自宅で過ごす時間も増えたが、テレビやゲームの時間が長時間であったり、近くのものばかり見ている生活も一因ではないかと考える。	宮城県	小学校
アレルギー眼疾患を軽視している。視力が「B」で、日常生活にそれほど支障がないためと考えられる。	秋田県	小学校
視力の低下が目立つが、メディアに触れている時間が長くなりがちで、就寝時間も遅くなり生活リズムの不確立な子が増加しているが、保護者自身もゲーム他のメディアに触れている時間が長いいため、うまく注意できないこともあると思われる。	山形県	小学校
ステイホーム後、再開した時すぐに視力検査を行ったが、急激に下がった子が高学年にとっても多く、「机の前に」と医師から指示を受けたが多すぎて担任が困った。	山形県	小学校
メガネ不適合で毎年受診を勧めているが、受診につながらない。経済的困難はなく、整形外科や内科などは受診するが、視力に対する関心が低いのか、一向に受診してもらえない。	栃木県	小学校
危機意識が低い。自粛期間中、ゲームやりすぎたからでしょ…で済ませる家庭が多かった	千葉県	小学校
母子家庭で時間がないことを理由に受診しない(両眼D)	千葉県	小学校
コロナ感染予防を理由に未受診の者がいる	千葉県	小学校
メガネは医療助成の対象外のため、受診してメガネ処方されても作らない(作れない)家庭がある。	東京都	小学校
受診してメガネの処方箋を出してもらったけれど、メガネを作っていない	山梨県	小学校
コロナで、なかなか受診していただかず、見えにくさからか、頭痛を訴えてくる児童がいた。	長野県	小学校
眼科健診日に欠席をしたため、校医の診療所へ健診をしに行くようをお願いをしても行ってもらえない。	岐阜県	小学校
困難事例とまではいなくても、夏～秋頃はコロナが心配なので受診を見送りますという声が聞かれた。	愛知県	小学校
長期休校の影響か、視力低下した児童が多かった。28名中19名受診が必要という学級があり座席配慮に困った。	愛知県	小学校
視力が0.2以下となってきた児童もいる。個別懇談会で担任からも「受診のお勧め」を渡して、勧めていただいたが、受診が進んでない。	三重県	小学校
困難事例までではないが、へき地のため近くの診療所は週2日しかやっていない。専門医にかかるには、遠い、待ち時間が長い、総合病院だとお金がかかるなどの困難がある	京都府	小学校
コロナのことがあって眼科へ受診しにくいと保護者より連絡がある。	大阪府	小学校
眼鏡を作るための受診をしない。ドッジボールなどでつき指をする。	奈良県	小学校
矯正視力が低いままなので、視力が弱い(授業にさしつかえる)	和歌山県	小学校
今、子ども医療費制度があり、受診は無料のため受診した結果、メガネが必要と診断されたが、高額なために買ってもらえない児童や、1度は買ってもらっているが、度数が進行し、レンズを変えた方がいいが(メガネをかけて矯正してもD)新しいレンズに変えてもらえない児童がいる。ネグレクトにより無料であっても受診すらしていない児童も多い。	愛媛県	小学校
眼疾患を治療しなかったため、症状が悪化した。	愛媛県	小学校
裸眼も低視力のまま、経過している児童もいる。眼鏡の度が合わないまま、よく見えない状態が続く子もいる。席の配慮をしようにも人数も多く限界ではある。	佐賀県	小学校
視力がずっとDなのに受診せず。担任が受診するよう言い続けようやく受診、メガネをかけている。	宮崎県	小学校
受診をすすめるが保護者はコロナ感染が不安で病院につれていけない。その後、Drと学校のすすめで4ヶ月後受診。ヘルベスと診断。	茨城県	中学校
アレルギーによる結膜炎で、一定期間が過ぎると回復するので、受診しない場合がある。(耳鼻科も同様。)	富山県	中学校
メガネをなくしたのに買わない	長野県	中学校
痛みを伴うものではないので、子どもも親も緊急性を感じていない。子ども医療助成があるにもかかわらず。	宮崎県	中学校
要受診と診断され、学校から受診をすすめるおたよりを配布したが、日常生活での困りがない児童の受診が進んでいない。	大分県	中学校
兄弟や保護者のお下がりのメガネで大丈夫と言っている	沖縄県	中学校
要・準要保護生徒へは2万円のメガネ購入券が発行されている。(利用している子が多い)、高校卒業まで医療費が無料なので病院受診は可能だが、部活・塾等で時間がない子が多いのが理由にある。	沖縄県	中学校
家庭の教育力の不足やネグレクト傾向	石川県	高校
①経済的理由で眼鏡を作る(替える)ことができない。②保護者が病院受診を拒否する(虐待に近い)	愛知県	高校
授業に支障がないとの理由から、一度破損したままかけずに過ごしている。	和歌山県	高校
視力低下のまま、メガネも作成せず、部活動をつづけていて、飛んできたボールに気づかず眼にあたり眼球打撲となった。	香川県	高校
新型コロナウイルス感染予防のため受診を控えた例があった。	佐賀県	特別支援校
経済的な理由から積極的な医療機関の受診、眼鏡等の購入につながらない。	沖縄県	特別支援校
検診日に欠席。連絡しているが、その後受診しない。	東京都	校種なし

耳鼻科分野・具体的事例【抜粋】

受診勧告に応じず、耳鼻科校医との連携で養護教諭同伴受診した。	宮城県	小学校
毎年聴力検査でひっきり、治療勧告書を配布しているが受診していない。(現在小5)本人も聞こえにくい自覚があり、時々聞こえていない時がある。※保護者の方とはお話ししていません。	秋田県	小学校
耳垢塞栓で要家庭処置、とれない場合用受診の児童に処置をお願いしているが、家で処置した返事も受診した連絡も未だない。(検診後5回連絡しているが)	山形県	小学校
町内に耳鼻科医がおらず、検診は行っていない。	茨城県	小学校
アレルギー性鼻炎と耳鼻科検診で毎年言われ、受診をよく思わないご家庭もある。	栃木	小学校
中耳炎をそのままにしており、耳に膿がたまる病気、滲出性中耳炎になってしまい、その上チューブ装着処置を受け、ずれ等(入水時)困る	千葉県	小学校
鼻炎、中耳炎、耳垢でもなかなか受診せず、勉強に集中できない場面もあった	千葉県	小学校
小2から聴力低下を心配していた児童が現在小5になり、かなり学力が下がってきている(現在まで未受診)	千葉県	小学校
耳鼻科の受診については他科より受診率が低くなっている。今年は水泳授業がなかったために、学校生活においては特に支障なし	山梨県	小学校
耳の形成不全の児童がいるが、コロナウイルス感染症を心配して定期的な通院を怠っている。	愛知県	小学校
お試し期間として、使用していた時期はあったが、その後、経済的に厳しい理由から、購入できずにいる。	三重県	小学校
聴力に関して、もともと聞こえのよくない児童は、受診に至らず。特に今年度は、どの健診においても、コロナ禍ということもあって、症状がなければ、受診をしない家庭が多い印象だった。	三重県	小学校
病院受診のための交通費がなく受診できない。難聴の疑いがあるが受診しないため心配である	三重県	小学校
アレルギー性鼻炎で、ほぼ毎日健康観察時に「鼻水」と訴える。口呼吸をいつもしている。慢性鼻炎に移行する事例が見られる	京都府	小学校
今年度はコロナを理由に受診した人が多かったです。	大阪府	小学校
普段から、入浴や着がえが難しい児童(ネグレクト傾向+本人はなかよし在籍)担任からも連絡してもらい、受診してもらえたが、その後も、耳垢はよくたまっている。	兵庫県	小学校
友だちに「ちゃんと言って」と強く出るため、トラブルになることがある。先生も反応がわからない(きこえているかいないか)友だちとの会話や先生の指示を聞きのがしてしまう。	奈良県	小学校
鼻炎を放置して、鼻づまりによる頭痛を訴えて来室する	佐賀県	小学校
扁桃肥大で主治医から手術を勧められるが保護者は不要だと判断している様子です。またコロナ感染症への心配もあり、本年度の受診を見送ったと連絡があった。	岩手県	中学校
コミュニケーションに課題がある生徒だが、保護者が難聴だからと向き合おうとしない。	岩手県	中学校
難聴で受診して補聴器をつけることを指導されているが、つけていない。	岩手県	中学校
生まれつき難聴の生徒だが、一度も受診結果を提出したことがないので、どのくらい聞こえないのか、反対の耳は正常なのか知りたい。	茨城県	中学校
ひとり親家庭	栃木県	中学校
休業中、ゲームをヘッドホンをつけてやっていたようで、両耳の聞こえにくさがあった。親は仕事で忙しいため受診につながっていない。	長野県	中学校
難聴のため補聴器をつけているが、壊れていたり、新しいものが必要でも購入の手続きがしてもらえない。定期受診もしていない	長野県	中学校
本人は聞きづらいと自覚しているが、母親が病院へ連れていかない。	岐阜県	中学校
難聴のため補聴器をつけているが、壊れていたり、新しいものが必要でも購入の手続きがしてもらえない。定期受診もしていない	京都府	中学校
一側性難聴があるが、受診しても治らないのでという理由で定期的受診をしておられない	京都府	中学校
健診そのものに感染リスクがあるので高校においては特に耳鼻科健診は必要ない。要受診も少なくほとんどがアレルギー性鼻炎でかかりつけ医がいる状況であるため。	愛知県	高校
アレルギー性鼻炎で症状を訴え受診を勧めるが、市販薬で症状をおさえている生徒も多くなる。	愛知県	高校
聴力検査の結果、異常ありの通知を出していたが受診せず就職に必要な書類の提出期限に迫ってきた中でようやく受診した。	三重県	高校
友人関係のトラブルとなった。(都合の良い時だけ聞こえていないフリをしているなど言われ)	奈良県	高校
検診はしてません。	愛媛県	高校
今年度はコロナ感染の関係で受診を控えた家庭が多かった	千葉県	特別支援校
特別支援学校という特性上、検査自体の理解度に差があるため、正確性に欠ける	三重県	特別支援校

その他分野事例(内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目・運動器健診など)【抜粋】

心臓健診で要受診だが受診勧告に応じない。4年生の心臓健診で医療機関の受診が必要だと受診勧告が来ていたが、約1年半受診していなかった。その間、保護者と2度面接を行って受診をすすめあが、親の仕事の都合や家のこと、本人が欠席したくない(皆勤賞をとらせたい)等の理由で、受診できない期間が長くあった。ようやく5年生の夏に受診していただけた。	岩手県	小学校
アトピー悪化しているが、保護者が無関心や家の都合を理由に受診しない。肌をかくすため夏場、長袖長ズボンや脱ぎながら熱中症が心配になった。プールも好きだが入りたくないというなど、学校生活に支障あり。副校長、養教、担任から、繰り返し家庭へお世話をし、ようやく受診。しかし通院が継続せず、悪化と改善を繰り返している。	岩手県	小学校
養育放棄の要素の強い低栄養。	宮城県	小学校
コロナのステイホームによる影響で体重の増加がみられ、健康相談、保健指導の案内を出したが、同意する家庭がいなかった。	秋田県	小学校
高度肥満に加え、抜毛もみられたため何度か受診を勧めたが、放置の状態である。歯科検診で欠席だったため、保護者に校医の医院にて検診を受けるよう依頼したが、行ってもらえない。	茨城県	小学校
欠席の場合、校医の協力で病院で実施しているが、長欠の児童が受診しない(今までは長欠であっても受診できていた)	茨城県	小学校
尿潜血で(E可・管理不要)年1回の定期検診、管理指導票の提出が必要だが、電話連絡等をして受診しない。コロナ予防と答えるが、連れていくのが面倒そうな様子がある。	栃木県	小学校
心臓健診にて要精密検査となったが、学校は速やかな受診を促しているが応じない。	栃木県	小学校
食物アレルギーがあるが受診しない。コロナウイルスが怖くて、食物アレルギーがあるが主治医を受診しない	千葉県	小学校
脊柱側弯症管理中の者。主治医の「経過観察」意味を“受診の必要なし”と間違えて解釈し、定期検診の連絡後に苦情があった。また、その後はコロナ感染予防のため受診しないと連絡あり	千葉県	小学校
定期の健診を受診せず、学校で不調を訴える	千葉県	小学校
就学直前に他県から引っ越し、入学した1年女児。手洗い回数が増え(コロナ禍で)、アトピーでゴワゴワの手が、パツパツ割れて痛む。本児の話では、親が薬をぬらさないことにした。ぼんそうこうもしない。と言っている。	東京都	小学校
休校中に体重減少し、その後も減り続けている児童が1名いる。保護者に面談したが高度やせまで進行してしまいようやく入院した。	石川県	小学校
肥満傾向児の体重増加が大きい…。登校しぶり児童が増えたり、生活リズムがくずれてしまったりする児童もいた。	長野県	小学校
心室性期外収縮の所見があり、受診勧告したが、三度程声掛け、電話連絡し、やっと2月に受診して下さった。	岐阜県	小学校
ゲーム、チューブなどネットがらみによる生活の乱れにより(昼夜逆転、睡眠不足)、不登校傾向になっている子、ゲームでの友人間トラブルで心のケアが必要な子もいる。	岐阜県	小学校
市の福祉課にも連絡してあるが、不登校のため健康診断が受診できない。(明らかに受診が必要ではない)母子家庭であり、保護者も心が不安定であるため、日常生活も心配。	岐阜県	小学校
喘息の悪化	愛知県	小学校
不登校、ネグレクト傾向のため、学校健診さえ受けていただけない。	愛知県	小学校
腎臓に疾患があるが、不登校により検査できず。家庭より2回予約をしたが結局受診できていない。	愛知県	小学校
心雑音。高度肥満の児童に対して、お知らせや、保護者に直接話しをしているが、受診していないのが現状である。	三重県	小学校
保健室登校の中には、コロナ関係による生活リズムの乱れや遊びや運動不足、人との関わりが少なくなったことでメンタル面に不安定さを感じたことからおきたものもある。教室の雰囲気の変化し乱れたクラスも出てきた。	京都府	小学校
保護者の仕事の都合がつかないという理由で、何度勧告しても受診してもらえない。心臓の経過検診が受けられず困っている	京都府	小学校
コロナ不安で病院に行かない。不登校児童の休んでいる理由が、コロナで自粛期間中に昼夜逆転をしてしまい学校に来れなくなったため。自粛中に人と会うのが怖くなった児童もいる。心臓検診定期健診を未受診のまま。	大阪府	小学校
低身長の子の増加	兵庫県	小学校
姿勢不良の子の増加	和歌山県	小学校
心電図異常があり、定期検診を受けてもらいたいが病院へ行ってくれない。	香川県	小学校
ネグレクトを疑う家庭や、兄弟が多くて食事をきちんと食べられない家庭が多く、学校が休校になったため給食がなくなり、体重が減った児童が多かった。休校中、学校で預かっていた児童にメロンパンだけとかチョコチップパンだけしか昼食用に持ってきてない児童がいた。以前から長期休業明けの身体測定で肥満傾向児はさらに肥満度が上がり、標準ややせ傾向の児童の中に体重減少している子が多い。不登校傾向の児童・生徒の増加	愛媛県	小学校
授業に集中できないほどアトピーがかゆく、皮膚もただれていた。保護者に受診勧告を何度もしているが、受診につながらない。高度肥満児で保護者に連絡しても話ができて、面談もできず受診につながらない。	高知県	小学校
「高度肥満」で受診をすすめている者で、まだ受診していない者は、時々学校を欠席する。教室内で落ちつきない行動をする者もいる。	宮崎県	小学校
肥満度の高い児童に受診勧告しているがなかなか受診してくれない。	沖縄県	小学校
要精密検査の未受診。特に心臓検査において要精密検査の未受診が心配である。複数回の受診おすすめてはしているが、受診に至らない。(例年未受診がいる)	北海道	中学校
不登校生徒は健診を受けさせるのが困難なため、未受診の項目が多い。健康管理上、心配なところもある。尿検査結果で要精検だが、保護者に伝えても受診する気がない。	宮城県	中学校

その他分野事例(内科・心臓検査・尿検査・皮膚科項目・運動器健診など)【抜粋】

尿検査で、糖、蛋白の異常があるにもかかわらず、なかなか受診してもらえなかった。(3か月後に受診した)。不定愁訴で頻回来院。	山形県	中学校
以前よりも心の問題の程度が重くなっている気がする	茨城県	中学校
受診勧告をしても、かかりつけ医へ相談済であったり、保護者の主観で、または本人の困り感がないと受診につながらない。アトピー、皮フ炎、ニキビ、扁桃肥大など。あるいは、受診や治療をしても報告がない。報告を呼びかけても、徹底しない。様々な事情があり、深く踏みこめない。	茨城県	中学校
本人が腰と膝の痛みを訴えており、脊柱側弯症検診でも要受診となったが、受診しておらず、膝が痛くて遅刻するため、担任や学年主任が保護者へ連絡するが、受診していない様子	茨城県	中学校
脊柱側弯症で「1年後受診」となっているのに受診しない	千葉県	中学校
不登校生に受診案内を出しても言ってくれない(6人)、心臓の再検査が必要なのに、親は連れて行かない(1人)←ネグレクト	石川県	中学校
結核の精密検査の該当者となっているがレントゲン(放射線)への心配からコロナを理由に受診につながらない。	長野県	中学校
気力がなくなり、学校へ来る意味等がわからないという生徒が中にはいました。	岐阜県	中学校
定期受診に行ってもらえない。その他検診未受診者について 困難事例:心臓疾患があり、生活管理指導表保持者にもかかわらず、年1回の定期受診に行ってもらえない。小6の8月に定期受診に行ったり、何度となく依頼しても定期受診をしてもらえませんでした。中3の夏休み直前の懇談時に、ようやく予約の連絡をもらえ、秋に受診が決まりました。手術歴があり。本当は内服薬も服用しなくてはならないのですが、小6で受診し、しばらく後に内服薬を紛失してから飲んでいません。中1、中2の間も再三受診依頼をしましたが、「保険証が無い」「(県外の医療機関のため医療費を一旦払わなければならないのだが、その)お金がない」「(保護者は免許を持っていないので)だ電車代がない」などなど様々な理由で受診してもらえませんでした。受験シーズンとなり、受験校に健康状態を伝えなくては行けないが、3年間未受診と伝えなくてはならなくなると保護者に言うと、ようやく動いてくださった。3年ぶりの受診の結果、経過があまり良くなく、検査入院をした。内服薬も処方されているが、結局現時点では飲んでいない。本生徒の健康が後回しにされていることに、すごく不安を案じている。	岐阜県	中学校
心電図検査の定期検診。心電図検査の定期検診日程の確認を保護者にした際、コロナウイルス感染の不安より、定期検診を見合わせているというお返事がありました。	三重県	中学校
ケガの増加、例年より骨折が増加	大阪府	中学校
要受診者ではないが、不登校のため、学校の健診を全くうけていない生徒が気になる。	和歌山県	中学校
コロナが流行しているので病院受診はひかえていると、心臓管理のある生徒の保護者に言われた。	山口県	中学校
保護者に受診の必要性を説明しても理解してもらえず受診につながらない。本人以上に保護者の変容が困難な事例が多い。保護者に課題があるケースが多い	高知県	中学校
肥満及び尿検査異常に関しては軽視している家庭が多い	福岡県	中学校
糖尿病の既往があるが、コロナの影響もあってか1年近く通院(服薬治療も含む)していない。	宮城県	高校
発達障がい。近年、増加傾向にあり、早期発見、周囲(特に親)の理解と配慮が望まれる分野と思われます。専門医による診断システムにつなげるための学校におけるスクリーニングが開発されることを期待したいです。	茨城県	高校
心臓検診の継続受診を受けていない、激しい身体活動を伴う体育に制限を加えざるを得ず、生徒に不利益が生じたと考えています	千葉県	高校
頭痛に関して長期受診や検査入院をしても原因が不明。鎮痛剤も効果がなく、生活習慣の改善等試しているが改善しない。主治医もさじを投げているのかすすんで治療をしていないように感じ、本人がひたすら苦しんでいる。不登校生徒の肥満の悪化。指導が行いづらい、継続しない、指摘することで不登校となるなど対応が難しい。	富山県	高校
1年ごとに心電図検査をしている生徒から新型コロナウイルス感染症が落ち着いてから受診してもよいかと相談があった。4月受診予定であったが8月に受診した。	愛知県	高校
過呼吸が頻発し、授業や周りの生トへの影響もあり、学校医より受診「要」として勧告書を配布したが、保ご者の理解が得られず、受診につながらず、その後も頻発し困っている	奈良県	高校
心電図検査後の精密検査を受診せず、体を動かす学校行事や授業に参加させられなかった。	山口県	高校
心電図検査で再検査になった生徒の保護者から中学生の時も再検査になったので医療機関を受診しなくても良いかという連絡があった。(なぜ受ける必要があるのか理由を説明し、納得してもらった上で再検査にいつてももらった)	愛媛県	高校
内科検診で喘息のため要受診となったが、受診結果が未提出のままだった。(口頭で「受診をし治療を受けたが結果は出しません」と本人より申し出がありました)	高知県	高校
困難事例は多発しています。心の問題、精神科疾患があっても専門機関にかかれぬ。ADHD等は特に親の困り感がないと専門機関に行かないし、予約しても半年後です。心臓検診にひっかかっても「学校から言ってきたんだから受診料を学校から出してくれないのか?」という問い合わせが毎年1件はあります。	高知県	高校
受診(精査)をお願いしているが保護者が「待って」といつてもなかなか受診できていなかったり、生徒自身の問題というよりも、保護者との対応に困っている。	沖縄県	高校
児童生徒や保護者の問題ではありませんが、学校医である整形外科医による運動器健診を実施したいと思っっているのですが、上手にすすめられず実践できていませんが、検討中です	石川県	特別支援校
受診の必要性は理解いただけているが、新型コロナウイルス感染症拡大によって受診を控え、いつ受診できるかわからないまま、次年度の検診を迎えることとなる(尿検査の精密検査が受診できていない)。来年度になっても受診をすすめるべきであるのか困っている。	岐阜県	特別支援校
障害特性から受診が難しい方がいらっやいました。コロナ禍で受診を控えたいという方がいらっやいました。子どもの健康に対する優先度が低い家庭が見受けられました。	山口県	特別支援校

未受診の具体的記載【抜粋】

検診結果についてあまり重く受け止めていない気がします	北海道	小学校
不登校(コロナ関連は2人)	北海道	小学校
専門の医療機関が町内にない。眼科や耳鼻科など。	北海道	小学校
兄弟が多く、丁寧に子どもに関われない。	北海道	小学校
医療過疎化のため。	岩手県	小学校
発達障害が疑われる児童。	岩手県	小学校
ネグレクト傾向	宮城県	小学校
歯の治療は仕事を休んで親が何回も連れて行かなくてはならず大変。つつい先延ばしにしている。	山形県	小学校
例年ほど受診をすすめられなかった(新型コロナ対策)	茨城県	小学校
自家用車がない	茨城県	小学校
受診はしているが、結果表を提出していないため	栃木県	小学校
健康診断終了時期が遅い。外出自粛例が大きく、治療の推進も届かない。	栃木県	小学校
精神疾患のある生徒	千葉県	高校
両親の仕事が忙しい	東京都	小学校
児童精神科の予約をとることが、混み合っていて難しい。	東京都	小学校
児童が歯科の受診を怖がる	富山県	小学校
学校からの配布物が児童から保護者へ渡されていない	石川県	小学校
治療や医療機関の診察が優先的ではない	岐阜県	小学校
歯列・咬合の矯正は高額であるため。	岐阜県	小学校
視力ABなどは保護者判断で受診しませんとお便りをいただく場合があります。受診するほどではないということかなと思っています。	愛知県	小学校
受診しても、学校への連絡をしない	三重県	小学校
全員ではありませんが医師の所見はあっても、「自覚症状が無い」ので受診はしないという考えの方がある(視力が低くても黒板は見える。う歯があっても痛くない。)	兵庫県	小学校
通院の時間が確保できない。歯科医院の予約がいっぱいでとれない。う歯が進行していて通院の期間が長くなり途中でやめるなど。	山口県	小学校
保護者が知的障がい、発達障がいがあり、児童への適切な対応が困難	福岡県	小学校
経済困難はないが、その他で考えられることはアンケートをとったわけではないのでわからない。予測でコロナによる受診控えだと思われる。	佐賀県	小学校
専門医受診は不要。市販の薬(既製品の医薬品)で十分と考えているようだ。しかし児童は、市販の薬は効きめなし。	長崎県	小学校
離島のため、本土の医療機関受診のための時間確保が難しい。	長崎県	小学校
受診の必要性は理解していると思われるが、仕事等で忙しく、中々受診できていない家庭がある。	長崎県	小学校
子どもが部活や塾で忙しいため。保護者の都合と合わないため。	北海道	中学校
医療保険未加入、親が忙しい、疾病異常の理解不足の3つが大きいと思います。	富山県	中学校
理由がわからない	愛知県	中学校
催告書粉失により、報告ができず、把握できていないケースがある。	大阪府	中学校
生徒が健康状態を保護者に相談しない。あるいはできない。生徒と保護者の関係	大阪府	中学校
所見があっても自分で症状を感じていない(実害がない)ので受診しようと思っていない。→アルバイトや部活で忙しい。	沖縄県	高校
障害児が気軽に受診できる医療機関が少ない。	愛知県	特別支援校

新型コロナの影響事例【抜粋】		
不登校傾向の悪化。長期休校による生活習慣の乱れ→歯肉炎の増加。ゲーム依存傾向。体力低下。数値でとらえていないけれど、みんなに影響があったと推測している。	北海道	小学校
運動量の低下か全体的にストレスの増加。	岩手県	小学校
怪我をしても病気になるでも受診しない(病院に行っても新型コロナウイルス感染症がうつたら…と言われる)。すぐに体調不良を理由に欠席するようになった。	宮城県	小学校
歯肉炎の増加・メディア依存増加	秋田県	小学校
風邪症状による欠席者の増加	山形県	小学校
むし歯のある児童の増加というよりも、一人で何本もむし歯を持っている児童が増加。	山形県	小学校
体重が大幅に増加した児童	茨城県	小学校
コロナが心配で歯科受診できない	茨城県	小学校
健康診断実施日では特に増加はありませんでしたが、来年度は増加しているかもしれません。	栃木県	小学校
骨折、怪我の増加	栃木県	小学校
心の不安定	栃木県	小学校
この1年で、学校管理外で骨折をする児童が10人と、例年より多かった。管理内ではそこまでなかったが、運動不足による骨等への影響を感じた	千葉県	小学校
不登校・登校しぶりの増加	東京都	小学校
ゲーム時間の増加により、暴力的・学習への意欲の低下が見られ、保護者から担任に相談があり、心理士も観察・支援を行った事例があった。	東京都	小学校
口腔衛生状態の悪化、不登校傾向児童の増加	山梨県	小学校
保健室来室者が例年の2倍に増加。昨年度より受診率が低下(受診控えが影響)。	富山県	小学校
心因性聴力低下、心因性視力低下。コロナによるものかは不明と言われるが可能性あり	石川県	小学校
運動不足(体重増加)、食事不足(体重減少)の二極化	愛知県	小学校
登校を控えているため健診を受けていない児童がいる。	愛知県	小学校
予防のため登校せず、健康診断を受けられない。	愛知県	小学校
歯垢、歯肉について口腔内の健康が悪化している児童の増加。	愛知県	小学校
体調不良での来室	三重県	小学校
骨折、捻挫等のけが増加	三重県	小学校
心臓検診要精検未受診	三重県	小学校
精神的不安定児童の増加	三重県	小学校
不登校。新型コロナ拡大前から不登校傾向の児童がコロナ感染不安を理由として不登校日数が増加しました	京都府	小学校
新型コロナウイルス感染症拡大のため1年間1度も登校できず、リモート授業を行っている児童がいる。健康診断は全て受けられていない	京都府	小学校
歯垢のある児童・生徒の増加	京都府	小学校
外斜位の増加、歯垢・歯肉異常の増加、不同視の増加	京都府	小学校
自主登校見合せ(感染症をおそれて)	大阪府	小学校
骨折が増えた	大阪府	小学校
コロナ感染リスクによる病院受診の拒否	大阪府	小学校
予約がとれない 人数制限の為	愛媛県	小学校
不登校生徒の増加	北海道	中学校
メディア使用時間が長くなった。	岩手県	中学校
けが骨折の増加	茨城県	中学校
精神的に不安定な生徒の増加	東京都	中学校
保健室頻回来室の増加、健康相談の増加	山梨県	中学校
不登校の増加 リストカット	長野県	中学校
健診結果の悪化については、特に大きな影響はなかったが、「コロナが心配だから受診をしたくない」という問い合わせが何件もあった。	岐阜県	中学校
歯肉炎、歯の汚れが全体的に増えた	岐阜県	中学校
健康診断要受診者の受診率低下	愛知県	中学校
コロナ感染が怖くて受診を控える	和歌山県	中学校
一旦体調を崩すとグズグズ続く。むし歯というより歯肉炎が増加していると感じます。	香川県	中学校
不登校生徒の増加、精神的不安定な生徒の増加	香川県	中学校
感染予防のため学校へ登校できず、健診もすべて未受診。	愛媛県	中学校
不登校傾向、生活リズムの問題が考えられる生徒での風邪症状での欠席届の増加	沖縄県	中学校
心の問題	沖縄県	中学校

新型コロナウイルスの影響事例【抜粋】

外出自粛のため外に出ることがなく歯磨きがおろそかになっているように思われます。	北海道	高校
全体としては増加していないが、肥満ややせになった生徒がいる。昨年3月の休校中、何もやる気が起きず食事をとる必要を感じなかったという生徒もいた。	岩手県	高校
高1の視力低下が目立った。受験勉強とコロナによる室内で過ごすこと、視力低下に気づきにくい状況でもあった。	山形県	高校
心の不調による欠席の増加	茨城県	高校
今年度は新型コロナ感染症拡大により、ほぼ全ての健康診断を2学期以降にしたため、有所見生徒への受診勧告も12月～1月に行うなど、事後フォローの時間が少ない現状を知っていただきたいです。	三重県	高校
指定された検診日に登校しない	三重県	高校
精神的な不調をきたし、受診、診断がついた ※受診に至らずとも不調をきたした生徒は多数	京都府	高校
心の問題を抱える生徒の増加	京都府	高校
起立性調節障がい素因のある生徒の増加→不登校傾向へ。	大阪府	高校
感染不安からの欠席増	大阪府	高校
ゲーム依存生徒、新入生、仲間作りがうまくいかず不安を抱える(4、5月休校により)	兵庫県	高校
例年に比べ、1年生の保健室利用が目立ち、適応障害のような症状の生徒が複数いました。5月の休校、学校行事の中止、縮小により、他学年との交流や、全校集会での規律、マナー、など指導できる機会が少なくなりました。精神的にも弱く、体力も全体的に落ちているのではないかと心配しています。	山口県	高校
歯垢、歯肉の状態が悪くなっている生徒の増加	香川県	高校
保健室利用の増加	愛媛県	高校
運動不足からか昨年度より怪我をする生徒が多くなった	高知県	高校
長時間のスマホ使用で眼圧上昇	沖縄県	高校

書ききれない事例【抜粋】

道教委に依頼してメール送信された方がスムーズではないでしょうか。貴団体の活動に感謝いたします。	北海道	小学校
コロナウィルス感染植拡大による影響か判断することは困難であると感じます。何年か統計を取ってわかっていくことがあるではないでしょうか。	北海道	小学校
飛沫が拡散するからという理由で学校の給食後の歯磨きも控えないといけない雰囲気になっている。今後、子どもたちの口腔環境の悪化が懸念される。	北海道	小学校
子どもが嫌がるからか乳歯だからと思っているのかわかりませんが歯科受診は毎年少ないです。今年はコロナの影響か例年の半分ほどの受診になってしまいました。	北海道	小学校
体力の低下やけがをする児童がいつもより多く見られる傾向にあった。6月10日と歯科・内科検診の日程を記入していますが、前校でコロナの関係で転入性が1学期検診が未実施のため、個別に検診をしました。転入、転出の関係もあり、総検診を受けた児童数で記載しています。	北海道	小学校
健診後報告書が未提出の場合もあるため医療機関受診者数を正確に把握するのは難しいです。また、コロナのため学校の集団健診を受けさせたくないという保護者からの連絡が少し増えました。	北海道	小学校
例年より健診後の受診率が高くなりました。コロナの影響で健診が7月になり、勧告書を出したのが、夏休み直前で、そのまま夏休みの受診につながったのではないかと思います。コロナによる受診控えはなかったように思います。	岩手県	小学校
経済的な理由や保護者の健康に対する意識の違い等により、子ども達の健康格差が広がっていることを実感する。	岩手県	小学校
歯科等は毎年同じ児童が受診せず虫歯を深くし、痛くなってから受診するケースがある。アレルギー性結膜炎等は季節的なものにとらえがちな保護者がいる。明らかに肥満でもお医者さんが遠慮するのか、何も言わない(肥満度等を健診時に示しても)。そのまま次の人に行ってしまうことがある(子どもが目の前にいるから言えない?)。	宮城県	小学校
市教委の配慮で、ディスポの健診器具を使用するなど、安全に健診を行うことができた。しかし、要受診の場合、病院受診に対して、恐いイメージを持つ家庭はある(病院に行ったらコロナに感染するのではないか)。コロナにかかわらず、心の問題が増加している。不登校につながる場合も多い。SSW+SCの勤務日数を増やしてもらえると、とてもありがたい。子どもや家庭の心の問題に対応するためには、専門家の力が重要だと年々感じるが増えてきた。また、児童精神医療も同時に増やしてほしいと思う。	宮城県	小学校
一斉休校後の学校再開時に調査した心身の健康調査・家庭での様子では、なかなか眠ることができない子や夜尿するようになった子もいました。運動不足の影響か、学校再開直後～3カ月程度は、転倒による怪我がとても多かったです。また、スポーツ振興センターやPTA安全互助会の対象となる怪我(骨折等)も昨年度の2倍を超え、子どもたちの落ち着きのなさや体力面の低下を実感しました。	宮城県	小学校
●●市子ども医療費助成制度により無料で医療を受けることが可能であるため、治療状況は良好です。眼鏡については、保険対象外のため、経済的に苦しい家庭は購入がすぐできず、学習や生活上我慢を強いられる児童も中にはいます。保険適用可能な眼鏡があるといいと思います。	宮城県	小学校
子ども医療証を使えばほとんど無料で受けられるので、経済的というより、「仕事を休めない」も含め、保護者の心の余裕のなさが未受診につながっているように感じられる。未受診者が増えているというより、今まで受診していなかった児童がますます行かなくなり、家ででの生活も乱れ、う歯の本数が増えたり、肥満が高度になったり、二極化が顕著になった。	山形県	小学校
とても記入に時間のかかる調査でした。設問1の人数を確認するのに何十分もかかりました。忙しいので出すのをやめようと思いましたが、受診控えの実態がわかるよう書きました。ぜひ子どもたちへの影響をあきらかにしてほしいです。	茨城県	小学校
コロナによる子どもの心身への影響は感じていたものの、根拠となる数値が自校のものしかなかったので、とてもありがたい、意義のあるものだと思います。臨時休校によるメディア使用が増えたと感じるので、ゲーム障害についての調査も気になります。	茨城県	小学校
新型コロナウイルス感染症の影響もあるのか、昨年と比較すると受診率が伸び悩んだ。学校側としてもコロナの感染状況を見ると、強く受診を勧めることができなかった。(特に眼科・歯科)例年より健診時期がずれ込んだため、定期的に受診しているような児童は定期受診後に受診勧告を発行することになり、再度受診しなければならぬのか等の問合せがあった。	栃木県	小学校
調査結果をHPで公表するだけでなく、ぜひ国や県、市町村に周知し、全体の問題意識を高め、医療費助成の拡充等(メガネや補聴器等の医療器具作成費用等)につなげてほしい。(とても重要で貴重な調査の為)	栃木県	小学校
本校は小規模なのですぐチェックできますが、大規模校だと、このような調査を年度末に実施(回答)はむずかしいかもしれません。あらかじめ(年度初め)設問(調査内容)がわかっていると答えやすいと思います。教育委員会経由だとおよい。とても気になる調査内容です。ありがとうございます。実態調査からの何か手立て、働きかけがあるとよいです。	千葉県	小学校
新型コロナウイルス感染症の影響が今年は色々な場面で受けていると思います。歯科の治療をためらう保護者、歯科検診もマスクをはずすので、受診できないという申し出が家庭よりありました。	千葉県	小学校
「コロナうつ」の様な、活気のない状況も感じられた。	千葉県	小学校
コロナの影響のためか、以前にも増して肥満の児が増えているように感じる。心の問題を抱えていてもコロナにより保健室へ来ることができない児が増えているように感じる。(感染リスクを意識してか)長期的な課題となっていくように感じている。	東京都	小学校

書ききれない事例【抜粋】

口腔だけでなく他の課題にも、貧困や大人の心の安定が根底にある。貧困→不安→ゆとりのなさ→子供に目を向けるよゆうなし→子供は見えてはしくて注意引き行動→イライラ→暴言・暴力→孤立→助けてもらい方が分からないと悪循環になり、くり返されている。支援策はあってもそこにたどりつけない方も多い	東京都	小学校
「健診後、治療調査の結果」を見て、正直驚きました。いままでこのような事例に出会ったことが無かったので、もし自校でこのような子供たちに出会ったら、何ができるだろうかと悩みました。受診を勧めるだけでは変わらない家庭への支援を考えると、行政からの補助が一番なのではないかと思いました。難しい問題ですね、、、とてもありがたい資料でした。	富山県	小学校
中3まで医療費がかからないにもかかわらず、受診されない家庭がある。車で10分くらいのところに歯科医院はあるが、保護者が病院へ連れていくことが困難である。5人の子供たちの世話が大変という理由もある。2学期に虫歯のところから出血していて教頭と心配しているが、受診されない。給食はあまり噛まずに飲みこみ、肥満でもある。小3の兄が小2の時、2〜3週間かけて虫歯の治療をしたので保護者の気持ち次第だが、受診されない。その家庭の子どもだけ学校から歯科医院に連れていくこともできず、進級前に再受診を勧めようかと考えている。	富山県	小学校
新型コロナのため、治療に関しても積極的にすすめることはできませんでした。他の学校もそのようなdと思います。設問7については全体的にみて視力は低下していると感じます。また今まであまりなかった体重増減の問題も少なからずありました。休校になり、自宅に長くいたことによる子どもの心身への影響を保護者から聞くこともありました。見えない部分でも子どもに影響が出ていると感じました。	石川県	小学校
川崎病既往歴があり、入学時に一度検査しておいたほうがよいと言われているとのことだが、病院が愛知県であり、コロナの影響で受診をためらっているようである。	岐阜県	小学校
校医さんより、学校で歯磨きを中止しているため、子供の虫歯や口の中が汚い子が増えていると連絡があった。本校では水道の数が少なく児童数が多いため飛沫の懸念があり実施できていない。昨年度と比べ、生活にあまり影響のない眼科の受診率が低い。授業に支障が出るほどではないが家でのゲームの時間が増えている子が多い。生活習慣が休校中に乱れて昼夜逆転し朝起きられずに不登校につながっている。	愛知県	小学校
興味深い調査だと思います。健康診断とは関係がありませんが、休校明けは子どもたちが外遊びをしなくなったり、目が合いにくかったり、あいさつの声が小さくなったりと気になることがいろいろとありました。少しずつ改善され9月ごろには今まで通りにもどった印象でした。	愛知県	小学校
コロナ禍の影響が子どもの心身に大きく関与していることは明らかかと思えます。	愛知県	小学校
今年は新型コロナウイルス感染症拡大による影響があり、子どもの健康課題が大きく現れた1年となったように思います。健康診断も実施できるかどうか危うい状態でしたが、感染対策を講じながら、なんとか実施することができ、子どもの最新の健康状態を把握できたことは改善に向けての大きな一歩であると感じています。今後も家庭と連携しながら養護教諭として適切な情報を収集・発信していきたいです	京都府	小学校
健康診断の結果とは関係ありませんが、今年度、不登校児童が増えました。1人、新型コロナを恐れて昨年6月に学校が再開された時に不登校になる子がいました。自宅待機が長かったので肥満や視力低下の児童は増加しています	京都府	小学校
今年度は新型コロナウイルス感染症の事例もあり、「登校させない」「検診も受けさせない」「病院にも行かない」という保護者の考えで、受診等がなく、状況が不明な児童がおりました。成長過程で大切なことを適切に処置されないということは成長の妨げにもなると思います。来年度は少しでもそのような児童への配慮を増やしたいです。	大阪府	小学校
受診ができない子どもがいる、ということが、何を意味するのかをつきつめていただくための調査で、子どもの健康を守ることにつながるのはありがたいことだと思います。ありがとうございます。「コロナの影響で」肥満や視力低下…というのは養護教諭として実感しています。感じていることを訴えても、データとして集計されないという面があります。肥満や視力低下を保護者にお知らせした後、学校でこの課題にむけてどうとらえらるのか悩ましいところです。受診について、コロナの影響はほとんどないと感じています。歯については、受診しない家庭は受診しないです。受診する家庭は定期的に通っている家庭というのが実態です。視力については、急に見えにくくなった子どもについては受診してくれますが、すでに1.0未満だったところは、なかなか受診しないというのが実態です。歯についても視力についても保護者の関心次第だと感じます。耳鼻科については、今年度は10月に健診だったため、花粉症の時期がずれ、症状がある子どもが少なかったです。5月にするとプール学習との関係もあり受診率は高いですが、健康診断とははなれなすが、食物アレルギーをもつ子どもの家庭で、管理指導表について、受診にかかる費用負担が大きいという声があがります。市立病院で初診に5000円ほど必要で、子どもが2人、3人という家庭では、負担が大きく、かかりつけの小児科ではみてもらえないというケースがありました。小児科でみてもらえた場合にも、アレルギー対応指針の理解が得られず、アレルギー改善のためには食べることが大事と、学校でも食べさせるようにという指示を持ってくる保護者もいます。どちらの場合も学校の対応への理解が、個人でされている医師に伝わっていないのではないかと思います。医療費の助成はかなり手厚いものだと思いますが、それでも受診しない・できないという家庭は、保護者の無関心が課題ではないかと今回の調査で感じました。子どもより保護者への指導が課題です。思いつくまに書いてしまいました。すべての子どもが必要な医療をうけられる社会を願います。	奈良県	小学校
検診後の受診率を保健だより等で保護者に周知していこうと思いました。	和歌山県	小学校
今年度の健康診断結果からは特に新型コロナ感染症拡大による健康状態の影響はなかったが、今後、う歯増加、視力低下、肥満の増加等が出てくるように思う。また、出席停止扱いで隠れがちな不登校傾向児童数の増加も懸念される。コロナ等対策に真摯に向き合うほど例年以上の業務に追われ、養護教諭の負担も大きい。本調査についてもさらっとできるようなものでない。	香川県	小学校

書ききれない事例【抜粋】

経済的な要因もそうですが、保護者の能力(教育力)や精神状態などで、必要な世話や治療などを受けられていない児童がいます。学校生活の中で必要なものが用意できなかったり、支援が得られないなど格差を感じています。	愛媛県	小学校
新型コロナウイルス感染症拡大による影響ではないが、最近、発達障害のグレーゾーンの児童がととも増えてきていると感じる。	愛媛県	小学校
治療受診を保護者に促しても「たいしたことはないから放といても大丈夫」とか「時間がないから今度でいい」という保護者の意識の低さがある、治療率100%にはなりにくい現状である。歯科については、度々治療勧告を促すことが大事だと考える。養護教諭自身治療率UPをめざして努力したいものである。	愛媛県	小学校
コロナの休校中家にひとり残された児童で、一日一食のみだったりスマホゲームの依存傾向が強まったりと、様々な影響が見られました。	福岡	小学校
受診勧告書をもらっても無関心な保護者の多さに驚いています。学校からの通知・指導だけでは心に響かないようで、これ以上どう対応したら良いのか悩んでいます。この調査が十分に生かされ、子どもの健康に関心をもつ保護者が少しでも増えるような影響があることを期待したいです。コロナの影響で心の問題が表面化して登校しぶりや不登校など苦しい思いをしている子ども(保護者も)が増えたと感じています。小学生の心療内科受診は受け入れ先が少ない(実際に様々な医療機関にTELした保護者によると)、学校でのスクールカウンセラー活用は回数に限りがあり助かっているが十分ではない、というのが本校の現状です。心の問題は長期化しがちなので、こういった面の環境改善ができないか…と思います。	長崎県	小学校
受診のお知らせはしますが、一部を除いて受診の有無について(受診報告)の確認はしていません。次年度の検査で確認しています。ひどく放置されているようなら、再びお知らせをしたり担任等と連携して直接伝えてもらったりしています。元々、生活保護(準含め)世帯が多い地域なので、治療や子どもの健康に積極的ではない家庭が多い印象です。あまりコロナだからという感じはありません。ただ、休校明けはケガが多く、2学期からは体調不良の来室がととも多くなりました。ケガは運動不足かなと思いますが、体調不良の原因についてはなんとも言えません。子どもよりも保護者の方が不安定なかもしれません。不登校気味だった生徒は逆に登校できるようになった事例が多くありました。	北海道	中学校
コロナ感染拡大による受診控え、今年はこれが特に多い。	岩手県	中学校
現在、●●市においては中学生までの医療費助成制度により医療費は無料となっている。にもかかわらず、受診率が伸びない背景には、保護者の無関心、ネグレクトがある事例もある。また歩いて通院できる範囲内に歯科医院があるにもかかわらず受診率が伸びない背景には、1人では受診(通院)させられない、通院したくないという親と子と考えがあると感じる。学区内で普段通学している場所にあることから、生徒の社会性を育て段階的に精神的自立を促すために、また、社会の中で成功体験を増やしていき、自信や自己肯定感を育てるためにも、中学生位の生徒には歯科医院、家庭、学校が協力して、自主的に通院できる環境をつくりあげる必要もあるのではないかと思う。	岩手県	中学校
コロナによる仕事の中止等により、不登校生徒が再登校するきっかけを失いました。登校しぶりも増加しました。学校生活は学習だけではなく、取り組みと関わりで充実するものだと再確認させられました。	岩手県	中学校
昨年度とは人数も違うのでははっきりとは言えませんが、虫歯・肥満が増加しました。	茨城県	中学校
数値として表れてくるのは、来年度以降の健康診断かと思えます。外遊びの減少、部活動の停止、体育の種目の限定などから体力低下は顕著です。	千葉県	中学校
コロナ対応、休校における子ども達への心身の影響は大きいと感じる。	千葉県	中学校
●●市は15才まで医療が無料でうけられています。そのため、それほどの問題点もなかったと感じています。ただ、意識の低い生徒・家庭には歯科について個別指導を実施しました	千葉県	中学校
コロナの影響なのかは、はっきりとしたことはわかりません。片頭痛の訴え、起立性調節による欠席者、不登校傾向の子どもが不登校になってしまった状況がありました。	東京都	中学校
中学3年女子。コロナで休校している間に受験や友人関係等で不安が強くなり、拒食症になった生徒と、学校に行く気になれず、不登校となった生徒である。	東京都	中学校
不登校生徒がそもそも検診自体を受診してもらえないことが多いです。	東京都	中学校
本市は23区と同様15才まで医療費無料です。無料でない地区だとまた状況が違うと思います。	東京都	中学校
内科関連では、そもそも不登校で、学校の健診も受けていなければ、個別で受診勧告のおたよりを出しても受診しない家庭が多い。コロナの影響事例については、昨年度の健診結果と比べると視力低下している生徒が全体的に増えているためチェックした。具体的な人数については集計していない。	東京都	中学校
歯科健診の結果が中学校3年間一緒もしくは、悪くなっている生徒がたくさんいます。年に2回受診の案内を出しても受診しません。親の意識を変えなければずっとそのままです。	山梨県	中学校
コロナによる検診日が2学期になり、医療勧奨が健診後と、2学期末しかできなかった。また、家庭も受診に対して積極性を感じていなかったように思う。まずは勉強(塾等)を優先させていた。	山梨県	中学校

書ききれない事例【抜粋】

今年度ではなく、昨年度に脊柱側弯が進行しているのに未受診の生徒がおり、保護者と話して今年度の夏に手術を受けたケースが1件ありました。生徒のことを思って話をすれば、保護者に通じると思いました。受診してもらえてほっとしました。今、中3まで医療費が助成されているので、受診に対する経済負担はないので、受診を勧めるにあたり、勧めやすいのでありがたい。たまに外国籍の生徒で医療保険に未加入の家庭があり、経済的な負担が生じるケースは受診を勧めることに苦慮します。また、保護者が忙しくて、受診する機会を作れないケースも良くあります。	富山県	中学校
何回か治療のお知らせをしても、なかなか受診してもらえない現状を、どうしたらよいかと思っています。何かよい手立てがあったら、教えていただきたいです。	岐阜県	中学校
新型コロナウイルス感染症拡大による影響というよりは、休校による影響かと思いますが、健康診断にはあらわれない心の問題(コミュニケーションの問題?)の事例が多数ありました	京都府	中学校
新型コロナ拡大により、病院に行きにくくなったこともあり、受診勧告がやりにくかったです。	佐賀県	中学校
歯科受診についてはコロナ禍の影響で控えていると感じる。	長崎県	中学校
(明確な理由かどうかは分かりませんが…)密を避けるため一時期、通常使用している教室より広い教室へ移動しました。その直後から、頭痛、腹痛、嘔気等の不安愁訴での保健室来室が急激に増えました。教室環境が原因なのか、ストレスが原因なのか、色々と重なっているのか…、はっきり分かりませんが確実に生徒への心身の影響はあるなと思いました。早く通常の学校生活に戻ってくることを願っています。	長崎県	中学校
受診結果報告書を提出してくれる生徒もいますが、提出しない生徒の方が多いです。公立小中と違い、高校の場合は文書料をとられることもあるので、こちらも提出を義務づけていません。そのため、医療機関への未受診・受診の数は把握できていません。	東京都	高校
健診とは別の話ですが、中1～高1まで無料で接種できる子宮頸がんワクチンについて全く知らなかったりして、接種できる機会をのがしている生徒も多いので、問題だと感じています。	石川県	高校
歯科検診は、ガウン、フェイスシールド、パーテーション越しに行われ、感染防止対策としては問題ないが、ダブルミラーでペンライトも持てない状態で口腔内を半分見られたのか(一生懸命診ていただきましたが)、また生徒に歯科＝感染リスクが高いのでは?と印象づけてしまったのではと思います。	岐阜県	高校
新型コロナウイルス感染症の影響で受診数が減少したとは考えにくい(もともと受診者の治療率は低いのが課題)内科的な要受診者は(保護者も)コロナの感染を懸念していた。	愛知県	高校
身近に医療機関がないということが、未受診の多い要因の一つと捉えております。歯科医院と診療所が各0カ所ありますが(地域性によるものかどうかは定かではありませんが)、県外の医療機関を受診する家庭が多いように思います。それにしても今年度は、例年に比べて受診報告が少なかったです。	高知県	高校
新型コロナウイルス感染症の後遺症で頭痛(薬服用しても効き目なし)、だるさ等毎日のように来室しています。出停も増え、クラス内になじめなくなった生徒。学習が周りについていけなくなった生徒も数名います。進級にも大きな影響が出ています。	岐阜県	高校
新型コロナの影響は、多方面にあると思います(受診控えや視力低下etc)が、それが全ての原因なのか、見極めるのが難しいと感じました。	福岡県	高校
健康診断ごとに結果通知し、1学期末にも結果通知を保護者に行っているが、未受診者が多い。ほけんだよりを活用して、受診勧奨を行っている。	大分県	高校
本校の児童生徒の実態から、視力、聴力検査は、観察法による結果が多数になります。はっきりした基準の判定ではない為、要受診の判断が難しい面があります。今年度、現状の把握ということで、今回、両検査、受診が必要な者(要受診)が0人になっています。前年度と比べて明らかに悪くなっている傾向があれば、担任と日頃の様子を確認しながら、病院への相談受診を推奨しようと思います。	長崎県	特別支援校